

月刊 いっぽ

vol.04

2016年7月号

denken

してるコーナー (ICT)

新着情報

★サブシステムの紹介★

6月号では、サブシステム5つのうち2つご紹介しました。7月号は残り3つのうち2つをご紹介します。

⑤保健管理システム

各種保健データを入力、統計、印刷等の事務処理を簡単に無駄なく行えます。また、各種様式を装備しており、各種諸帳票が作成できます。

- 保健日誌 ●健康記録 ●健康観察 ●来室記録
- 身体計測・視力 ●治療勧告書

⑥給食管理システム

各種名簿や台帳の作成、申請書の作成が行えます。随時入力データにより食数管理が可能となります。学校徴収金システムとの連動、給食センターとの情報共有が可能で、効率的な事務処理が行えます。

- 給食日誌 ●給食センター照合 ●台帳管理

-第7回教育ITソリューション-

弊社リサーチ班成果報告

【セミナー編】

別冊（裏面）をご覧ください。

次号では展示会場編を報告!!

★今日の一言★

和霊大祭・うわじま牛鬼まつり

【和霊大祭とは？】
山家清兵衛を祀る和霊神社で行われる祭りは、恨みを残して亡くなった人の霊を鎮める御霊信仰に基づいています。

牛鬼がまちを練り歩き、
人々は心ひとつに熱くなる!!

デンケンもガイヤ踊りますよー v(^ ^)v

7

月

日

（

）

日直

大下
デンケン

正徳

テーマ 1: 「すべては児童・生徒のために！」

～負担軽減・時間創出・学力向上の先にあるものとは?～

1. 先進地域に見られる共通項

複数年にわたり、着実に学力が向上している。
地域全体としての教育ビジョンが明確である。
バランスのとれた教育の情報化
(ICT教室・情報教育・校務の情報化)

2. 教育活動の改善

量的改善 (教員の多忙感を解消)
⇒児童生徒と向き合う時間、教材研究の時間の確保
質的改善 (制度や規定、運用の見直し)
⇒教育の質の向上、学校経営の改善と効率化

3. 校務の情報化による成果

校務の質的变化 (業務スケジュール、フロー)
迅速な対応、危機管理、情報共有化を支援
(出欠管理、保健管理など)

4. 今後求められること

首長部局と教育委員会、学校長の連携
総合型校務支援システムの導入
学習履歴と教材データの連携

テーマ 2: 「校務支援にもタブレットを活用する」

1. 整備の目的や考え方

各構成要素別の考え方

- ・情報教育⇒子どもたちの情報活用能力の育成
- ・教科指導⇒各教科等の目的を達成するための活用
- ・校務の情報化⇒教員の負担軽減と子どもたちと向き合う時間の確保

2. 教員の指導用としての活用

大型テレビが設置された全教室に、タブレットを整備し、タブレットの画面をデジタルテレビに無線で転送

3. 実際の変化の様子

例) タブレットに興味がある。⇒集中力があがる。

タブレットを触りたい。⇒説明したい。発表したい。

結果: 集中力UP。共通理解に効果有。発表の機会増

4. 校務支援システムとの連携

出欠管理⇒子どもの出欠状況を教員間で情報共有

危機管理⇒朝の出欠情報を迅速に把握

成績管理⇒授業の中での見取りを通信簿へ反映

月

日

(

)

日直

【リサーチ班のまとめ】

校務支援システムを導入する意義とは? ⇒情報の電子化の先にある情報の共有化である。